

広報

くにみ

No.294

1997

12



月

平成9年12月15日.....



8回目を迎えた塚野目ロードレース大会。今年も天気は上々。参加する選手も運営委員もみな気のいい、1等賞の人ばかり。親子の部あり、ベテランの部あり、みんな楽しく走りました。また、お母ちゃんたちが腕によりをかけてこしらえた豚汁が、みんなにふるまわれるのも、1等賞の大会です。

みんな、

1等賞





一生懸命をたたえて

国見町表彰式



十一月二十五日、平成九年度の国見町表彰式が行われ、十三人が受賞しました。

式では、富永町長が「今日の国見町があるのはみなさんのおかげです。心から敬意と感謝を申し上げます。今後も、その豊富な識見と経験で町発展のために、力をお貸しください」と式辞を述べ、一人ひとりに表彰状と記念品を手渡しました。

また、来賓の小沢正剛福島県東北地方振興局長と吉田町議会議長が祝辞を述べた後、鈴木邦夫さんが謝辞を述べ、閉式しました。

◇ ◇

今年度の受賞者のうち、公立藤田総合病院副院長の鈴木邦夫さんをはじめ、五人の方々に話をうかがいました。



受賞者

特別功労表彰

鈴木邦夫さん（保健医療）

二十六年間、公立藤田総合病院の内科長、平成六年四月から同病院副院長を務め、地域医療で活躍した功績が認められての受賞です。平成六年に国保関係功労表彰（厚生大臣表彰）、平成五年に国保事業功労表彰（国保中央会会長表彰）を受賞しています。

服部政夫さん（同）

二十六年間、公立藤田総合病院の耳鼻咽喉科長、平成七年四月から同病院副院長を務め、地域医療で活躍した功績が認められての受賞です。平成五年に国保事業功労表彰（国保中央会会長表彰）、昭和六十年に自治功労表彰（全国町村会長表彰）を受賞しています。

菊池利雄さん（文化振興）

国見町文化財保護審議会委員として二十三年間にわたって文化財保護活動に携わっています。また、国見町の郷土史を研究し、執筆を続けている功績が認められての受賞です。平成五年には文化庁長官表彰を、昭和五十八年には福島県文化振興基金顕彰を受賞して

います。

井砂由三さん（社会福祉）

昭和五十八年四月から平成九年四月まで、七期十四年にわたって保護司を務めました。保護司は法務大臣が委嘱する無給の民間ボランティアです。犯罪や非行防止活動はもとより、触法犯の更生を助け、社会復帰を支援した功績が認められての受賞です。昭和六十年に国見町功労表彰を受賞しています。

功労表彰

菊地善助さん（自治振興）

昭和六十一年四月から第十一町内会長として町と町民との相互連絡を図り、円滑な町政運営に努めたことが認められての受賞です。なお、昭和六十年九月から平成九年十月まで国見町土地改良区総代を、昭和六十二年四月から国民年金組合長を務めています。

小林光雄さん（納税）

昭和六十一年四月から現在まで第七納税貯蓄組合長を務めています。納期内完納の促進や納税意識の高揚に貢献したことが認められての受賞です。連合会長在職中には、国見町

が個人県民税収納成績優良町村に選ばれ、福島県知事から感謝状が贈られています。

後藤功さん（同）

昭和六十一年から現在まで泉田上納税貯蓄組合長を務めています。納期内完納の促進や納税意識の高揚に貢献したことが認められての受賞です。

菊地良七さん（消防）

昭和四十一年十月から現在まで消防団員として防火意識の高揚、団員の資質向上を図り、町民の生活安定に努めたことが認められての受賞です。平成九年に日本消防協会会長表彰（動続賞）を、平成四年に福島県知事表彰（永年動続賞）を受賞しています。

高橋徳平さん（農業振興）

昭和五十六年九月から平成九年十月まで、国見町土地改良区役員を務めました。この間、国見町の農業整備事業の推進に努力したことが認められての受賞です。また、昭和六十二年四月から平成三年四月まで貝田町内会長も務めました。平成九年には、国見町土地改良区感謝状が贈られています。

善行表彰

菊地太三さん（寄贈）

義経の供養と世界の平和を願って親月台公園に義経像を建立、寄贈したことに對する表彰です。昭和四十七年十一月から平成七年二月まで国見町農協組合長、平成二年六月から平成五年五月まで福島県農協五連副会長などの要職を務めました。平成四年には黄綬褒章を受けています。

八巻石材工業株式会社

代表取締役八巻伸広さん（寄付）
平成三年と平成七年に続き、文化振興へ三百万円を寄付したことに對する表彰です。

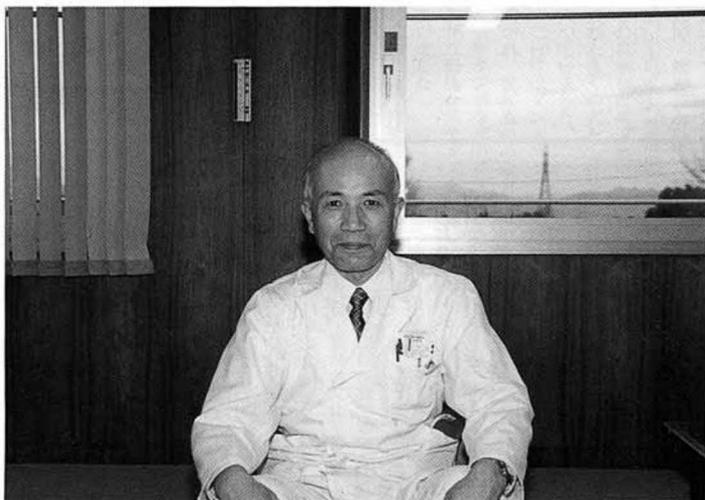
松浦昭一さん（献血）

献血の重要性を深く認識し、積極的に献血事業に協力したことが認められての受賞です。

栄誉顕彰

鈴木英子さん（スポーツ）

わかしやち団体、ふくしま国体、そしてなみはや国体のボウリング競技に出場し、上位入賞するほか、東北総体でも優勝するなどの功績が認められての受賞です。



特別功労表彰
公立藤田総合病院副院長
鈴木邦夫さん

「長く勤めていただけで、特別なことをしてきたわけではありません。特別功労表彰をいただくのは、何とも面映い気がします」と鈴木さん。

二十六年の間、公立藤田総合病院の内科医として患者の診察と治療に当たってきました。

生まれも育ちも二本松です。野原を駆け回って遊ぶ元気な子ども時代を過ごしました。

「そのころの夢は、戦闘機乗りになることでした。戦時中でしたからね」。

また、両親が農業をしていましたから、農家の苦勞もよく知っています。

「農作業の手伝いは何でもしましたよ。したというより、させられた、というのが本当のところですが、当時はそれが当たり前でした。また、父親は勉強することにとても厳しい人でしたから、少しぐらい具合が悪くても学校に行かされました」。

おかげで卒業するときには、皆勲賞をいただきました」。

内科医となるまでには、悩みもしました。

「県立医大の学生のころ、将来何を専攻するか、いろいろ迷いましたが、インタンのときにすばらしい先生にめぐり合えたのがきっかけで、内科の医師になることを決めました」。

公立藤田総合病院に勤務することになったのは、昭和四十七年七月でした。総合病院が今の場所に移転して三年目、診療科の拡充が図られる中、内科でも人工透析室が増築されて、ペテランの医師が必要になったころでした。

「二十六年前に比べると、国見町はずいぶん変わりましたね。そして、時代の変化に呼応して、みんな忙しくなりました」。

地域医療の核としての役目を担っている総合病院の内科には、多いときで一日に四百人も患者が訪れることがあります。

「患者さんの数がこれほど多くなると、一人ひとりに充てら

「静かな野山を、鳥の声を聞いたり、花や虫などを観察したりしながら、のんびり歩くことが、私の趣味ですし、健康法です」。

れる診察時間が、どうしても短くなってしまう。診察室では、医師と患者さんが向き合います。余裕を持って様子を聞き、心細い思いをしている患者さんに、健康と安心を贈りたいのですが、その基本的なことが難しい時代になってしまいました」。

また、内科医としての豊富な経験から感じる、強い思いもあります。

「病気になってから医者にかかるよりも、病気にならないように予防することのほうが大切です。病気になる医療の実践ができればいいのにな」と思っています。これまで成人病といわれている病気の多くは、生活習慣によって発病したり悪化したりすることがわかってきました。若いときから、良い生活習慣を身につけるように心がけたいものです」。



特別功労表彰
国見町文化財保護審議会会長
菊池利雄さん



「好きな道を歩んできただけですから、今回の受賞は思いがけないことです。本当に受賞に値することをしています。菊池さんが本格的に郷土史研究に取り組みきっかけとなったのは、昭和四十年代後半に始まる国見町史の編さん事業でした。」

「満足に手紙も書いたことがなかった私が、編さん顧問の小林清治先生（福島大学教授、当時）に『菊池さんも町史を執筆してください』と依頼され、専門委員の先生たちに教えていただきながら、国見の条里制をまとめたのが始まりです。」

それまでも歴史や地理には興味があつて、これらに関する書物は好んで読んでいました。

「郷土史は日本史研究の一つです。国の制度や文化を研究することも大切ですが、私たちが生まれ育った町の歴史、地域の文化を知ること、同じように大切なことです。とかく軽く見られがちな伝説や言い伝えに

も、何かしらの理由があるものです。郷土史研究は、これらに科学的な裏付けをし、新たな価値を付けることで、その地域の歴史解明に役立つものも少なくありません。」

「国見町は、今も昔も日本の動脈である奥州街道が通る交通の要衝だから、発展しないはずはない」と菊池さん。

「街道沿いに中央の政治、経済、文化が地方へと伝わるとき、その沿線地域には何かしらの種をまいていくものです。」

政治の中枢が奈良、京都、鎌倉そして江戸へと移っても、歴史の節目節目に関係する文化財が数多く残されている町です。

縄文時代の岩淵遺跡、古代の塚野目と森山の古墳群、条里制水田跡、奥州合戦の古戦場である阿津賀志山防塁、南北朝動乱の際に靈山城の出城として築かれた藤田城、そして奥州街道の宿場として栄えた藤田宿など。

「これらの遺跡が残されていることは、明治以後もこの町が

発展していく上でとても有利に働いています。新旧の国道四号、東北本線、高速道、新幹線。すべて国見町を通っています。」

「歴史と文化で繁栄してきた町だからこそ、私たちはその重要性をもっと知らなければなりません。」

しかし、文化財保護の対極にあるのが地域開発。

「文化財だから手を加えてはならない」というのではありません。国や県が指定した最重要遺跡以外は記録で保存する方法もあります。ただ、その判断は難しいですね。また、文化財をやみくもにありがたがるより、遺跡を訪ねたり、学習したりして理解を深めてこそ、その価値が高まるのではないのでしょうか。それに、文化財を町活性化の一つとして考えることも大切なことですね。」

「文化財保護は日が当たらない分野。文化財の勉強をしているたくさんの人たちの励みになるよう、賞をいただきます。」



観月台公園に建立していた義経像が完成し、引き渡し式と除幕式が十一月十五日に行われ、式の後、冬の青空にすくくと立つ義経を見上げるまなざしがとても優しく見えました。

「どうして義経像を寄贈しようと思ったのですか」と、たくさんの人に尋ねられたよ。一言でいうとそれはね、これまでお世話になったこの町と、たくさんの人たちに、何か恩返しをしたいという思いがあったからなんだな。」

生まれ育った家の近所にあった義経の腰かけ松。この木に登ったり、その周りを駆け回ったりして遊んだ子どものころ。

「腰かけ松のそばに、夏の初めになると、いつも真っ黒い実をつける山桜の木があつてね、それを友だちと一緒に食べたものだよ、懐かしいなあ。」

子どものころには、義経という人がどんな人物でどんなことをした人なのかわからなかったのですが、菊地さんの心の中に



善行表彰
前JA伊達みらい
農協組合長
菊地太三さん

「趣味？ 特別なものはないよ。朝、早く起きて畑に行って百姓をする。今は、自分の田んぼに植えた柿をむいてるんだよ。」

ずっと住み続けていた人です。「大人になって義経の人となりを知るにつけ、すばらしい人物なのに何とも気の毒な生涯を送った人なんだなあ、と同情すら感じた。また、歴史の表舞台に登場して亡くなるまで、たった九年間なんだよ。短い生涯のうち、国見の地を二回も通っていることはこの地と少なからず縁があるんだよ。」

仕事を辞め、恩返しになるものを、と考えたとき、義経の姿がふつと心に浮かびました。昭和四十七年十一月から平成八年四月までの二十三年間、農協組合長として農家の先頭に立って、農業経営を指導してきました。この間、福島県農協五連の副会長も務め、県内各地の農業もつぶさに見てきました。「今、米を主体にした農業は難しいね。でも、国見町の農業は米に代わる作物に恵まれているんだよ。県内各地の市町村に比

べ、米に依存する割合が少ないからね。」
毎年、市町村に割り当てられる減反面積、稲作農家の収入確保のために、町と農協、農家が一緒になって考えたのは減反した田を畑に変え、米に代わる作物を作ることでした。

「町の協力をいただきながら、蜂谷柿の団地づくりを始めたんだよ。田んぼを作物にあつた畑に変えれば減反したことになるでしょう。政府は、こういった条件整備にもつとお金をかけるべきだよ。ただの減反は国を減ぼす源だよ。」

町の基幹産業の農業を一心に引つ張ってきた二十三年間。「義経の像を寄贈したこと、町の発展に少しでもお手伝いできたらいな、と思つてのことだからね。みなさんには義経の像をかわいがつてほしいな、と思うよ。受賞は何とも心苦しい限りだなあ。」



「青春時代がないんですよ。二十歳で旧満州に渡り三年ほど過ごし、一度帰国してすぐにガダルカナルへ。その後はプイリビン、シンガポール、ビルマへ。そしてベトナムで終戦。昭和二十一年に復員。そのときはもう二十九歳になってましてね。戦争に振り回された十年間でしたよ。」

昭和二十一年に復員したときは、農業をするしかない時代でした。そして結婚。四人の子にも恵まれました。

今回の功勞表彰は、国見町土地改良区の役員を長く務めたことが主な受賞理由です。

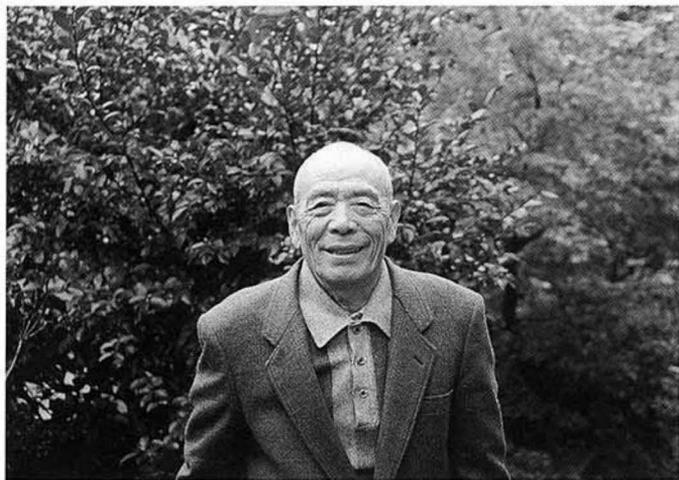
「貝田地区は、山に近くて狭い場所です。ただでさえ窮屈な場所に、新旧の国道と高速道路、東北本線、サービスエリアが造られたために、農家は土地が減ることにひどく神経質になってしまいました。そういった感情が土地改良区の仕事を進める上

での難しさとなりました。貝田水路や沢田堀の改修では、貝田者の了承をもらうまでに一年ほどかかりましてね。それを根気強く説得して、まどめた苦労が認められたのかな、と思うところがたいことですね。もつともみなさんの理解と協力がなかったら、十六年もの間、務められなかったことでもありますね」と、高橋さん。

国見町土地改良区は、それぞれの地区から推薦された委員で構成され、農業用の水路やため池、農道などの改良やほ場整備事業を行っています。

「この地区でもここ数年、新規就農者はいません。今、農業をしている人たちはみな高齢です。だからこそ、農家が農業をしやすい環境整備をすることが大切になってくるんでしょね。土地改良区はそういった役目を担っています。」

「貝田地区の要望をきちんと受け止めてくれた町に感謝しています。町がどのように後継者を育てていくのか、見守りたい。」



功勞表彰
前国見町土地改良区理事
高橋徳平さん

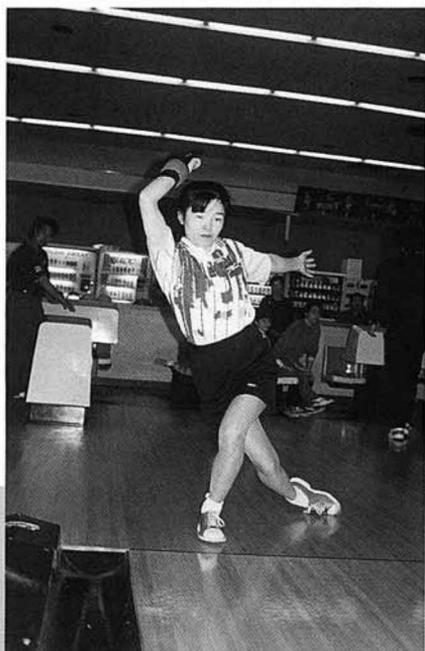
農業に関係する団体の役員が主ですからなおります。これからの農業が気になります。」

「専門農家は、本当に大変です。米もくたものも価格は下がる一方ですね。一生懸命農業をしていますが、その苦労が報われない時代なんでしょうか。一番気がかりなのは農家の嫁問題です。農業を継ぐ若者がますます減ってきています。私たちが若いころは、農業がおもしろい時代だったんですがねえ。」

自分が生まれ育った地区のためになればとの思いがあればこそ、難しい問題でも地区の意見を一つにまとめ、町へ改善を申し入れてきた十六年です。

土地改良区の役員をはじめ貝田水利組合長などは辞めました。福島森林組合や貝田共有山管理会の要職は、会員の慰留があつて辞められずにいます。

「引き受けている役員を辞めたいんだけどねえ」という高橋さんですが、今日も近所の人たちが道路拡張のことで相談にきていました。



栄誉顕彰
ボウリング競技国体選手
鈴木英子さん

鈴木さんってどんな人？ 「くよくよしない、前向きな性格。がまん強い」と本人。すかさず母親のキ又さんが「気も強いのよ」

アプローチ(助走路)に立ち、約七割のボールを構える。一つ深呼吸。百五十五センチの体が滑らかに動き出す。手から離れたボールはレーンを転がり、十本のピンをはじける。

「ボウリングは、これでいいという感じがありません。一投ごとにレーンの状態が変わりますし。要は十本のピンを倒せばいいことなんですけど、なかなか思うようにいきませんね。レーンの読みと集中力が求められる

スポーツです。好きだから続けられるのかな。今回の受賞は突然だったのでびびったり。でも、競技会でいただく賞とは別で、とてもうれしいです。

十年ほど前、会社の仲間たちと「ほんのお遊びで、やったボウリングが始まりました。

「で、ここのアベレージ(点数)だったんですよ。それで、実業団で本格的にやってみようか、ということになっちゃって。それに男性ばかりでも何だし、

女性も一緒にやろうよって」。

中学時代はバスケットボール部でコート走り回り、高校時代は一転、文化系。会社勤めを始めてからも二十歳過ぎまで、スポーツは何もしていませんでした。そんな鈴木さんが、何気なく始めたボウリングで大輪の花を咲かせました。

(平成三年に郡山市で開催された全日本実業団競技会の女子の部で初優勝したときは、うれしかったですよ)。

それ以後、東北総合体育大会(東北総体)での上位入賞はもとより、国民体育大会(国体)でも、わかしやち国体で四位、ふくしま国体で五位、そして今年のなみはや国体ではこれまでで最高の二位になりました。

「フレッシャーがないといったらうそになります。特に国体では、少しでも福島県のポイントを上げようと、力が入ります。三投目ぐらいまでは、今でも緊張しますよ」。

練習は月曜日と水曜日。仕事が終わってからです。

仕事は、ラインに入つての製造業。立ちおしなので、体力的にきついこともあります。

「でもね、アプローチに立つと頭も体も切り替わります。今行っているのは、練習といつても実は試合なんです。福島県ボウリング連盟福島支部のリーグ戦なんです」。

これまでに一度、パーフェクトを出したことがあります。

「そのときは、やっぱりうれしかったですよ。『やったあ』という感じ」。

国体でも東北総体でも、福島県チームの中心的存在になった鈴木さん。でも、ちよつと歯がゆい思いもしています。

「ボウリングを楽しむ人の数はレジャースポーツの中で一番です。でも、本格的に続けようという人は少ないですね。若手が育たない。特に女性がね。まあ気長に待ちますよ」。



全国防犯協会連合会 防犯栄誉銅章



星野 歳さん

星野さんは昭和35年に国見町防犯協会大木戸支部員となり、地域の防犯活動に努めてきました。また、平成4年には大木戸支部の副支部長に、そして平成7年には支部長となり、大木戸地区の地域安全活動の中心的存在として活躍しています。町や交通安全母の会と一緒に通学路を中心とした危険箇所点検やひとり暮らし高齢者の訪問、地区の子どもたちと高齢者が一緒にしめ縄や松飾りを作る文化教室などの開催にも積極的に協力してきました。

今回の銅章は、これらの地道な活動が認められての受賞です。

福島県文学賞（詩部門） 奨励賞



内池和子さん

福島県の文学界で最も高い権威を誇り、50回目を迎えた福島県文学賞。詩部門をはじめとする4部門に、今回は過去2番目の多さとなる296点の作品が寄せられました。「これまで、ひっそりと同人誌に発表していたけれど、この1年間で古い仲間が3人も亡くなったことで、私がしてきた仕事を修めなければいけない歳なんだと思い、応募しました。それに私の詩がどう評価されるのか知りたかったし」と内池さん。

児童図書にも精通している内池さんですが、総務庁の行政相談員も長く務めています。

秋の表彰

国見町表彰以外にも、各種団体から表彰を受けた方々をご紹介します。

おめでとう
ございます

福島県統計協会 会長表彰



瀬戸 孝さん

この表彰は、統計調査員や指導員のうち、7年以上統計調査事務に従事し、統計の普及発展に貢献した方に贈られます。

瀬戸さんは、常に調査員としての自覚を持ち、統計調査員として統計本来の目的を十分に理解し、その任務の遂行にあたっていることが認められての受賞です。

統計調査には、国勢調査はもちろん、その他にも工業統計調査や農林業センサスなどがあります。また、これらの調査結果は、国や県、市町村が行うさまざまな施策の企画立案に大きく関係してきます。



焼 て ない



(空)

と



(陸)

から防災訓練



町消防団員の水防訓練（積土のう工法）



自衛隊ヘリコプターの負傷者搬送訓練



伊達地方消防組合の車両火災消火訓練

毎年、伊達郡と安達郡の町村が持ち回りで行っている県北地方防災訓練が十月三十日、上野台運動公園などを会場に実施されました。これは国見町地域総合防災訓練を兼ねて行われたもので、国見町と福島県県北地方振興局、伊達地方消防組合が主催、二十一団体、約一千二百人が参加しました。

今回は、相馬沖を震源とする震度六強の大きな地震で家屋の倒壊や火災、負傷者が発生、さらに大型の台風で堤防が決壊したという想定で行われました。訓練は役場内に富永町長を本部長とする災害対策本部を設置し、情報収集訓練を行った後、上野台運動公園、県北中学校、JA伊達みらい国見営農センタ

ーで、車両事故救助、水防訓練、消火訓練などを行いました。また、主会場となった上野台運動公園では、自衛隊のヘリコプターによる負傷者の搬送訓練や林野火災の中継放水訓練、炊き出し訓練なども繰り広げられ、参加者はもとより、見学に訪れた人々も、万一に備える心構えを新たにしました。



今年の収穫量は
百五十一kg!



十一月四日、小坂小(堀江通校長)で「実りの集い」が開かれました。この集いは、斎藤実さんの水田約四町を借りて米作りをしている小坂小の秋の恒例行事です。

堀江校長が「稲刈りのとき、心を打たれたことがあります。それは、米作りを通してみなさんが、人が嫌がることでも進んで行うことができる人になったということを見せてくれたからです。今日は格別においしいお赤飯をいただきますよ」とあいさつしたの続き、子どもたちは米作りの感想文を発表したり、クイズを出し合ったりして、半年間の体験で学んだことを話し合いました。

また、富永町長は「お招きありがとうございました。国見町は農業で支えられている町です。この町ではお米の収穫は一年に一度だけです。農家ではお米を大切に育てています。みなさんは米作りを通してとても良い経験をしました。学んだことをずっと忘れずにいてください」とお礼の言葉を述べました。

この後、お世話になった人たちと一緒に、おいしい昼食をとりました。

いねがり



1年 横山智帆さん

10月4日、いねがりをしました。わたしは6年生のさやかちゃんともやりました。かまは、かわりばんこにつかいました。

さいしょはむずかしかったけど、あとからは、なれてきました。

ちょっとたんぼが、ぐちゃぐちゃだったけど、うまくできてよかったです。

わたしよりも、おじさんのほうが、じょうずかったです。



2年 蓬田翔平くん

この前は、いねがりができてよかったです

はじめは、なかなか切れなかったけれど、だんだんうまくできるようになりました。

5年生や6年生が、いねのせわをしてくれたので、きょうはおいしいごはんになりました。

ほくも上きゅうせいになつたら、自分からすすんで、いねがりをしたいと思います。

—これは、「実りの集い」で二人が発表した作文です—



あったかいお弁当 どろぞろ 召し上げがれ



十一月十四日、ひとり暮らしのお年寄りに手作りのお弁当が届けられました。

このお弁当宅配は、一昨年からJA伊達みらい・ふれあいグループが行っています。一昨年は、町内の七十歳以上のお年寄り全員に配りました。ところが昨年、食中毒の騒ぎがあったために、やむを得ず手作りの花の宅配。そこで今年は、衛生面に気を配ったり、一昨年の反省などから対象年齢を引き上げたり、献立を立て直したりと、改善を重ね、前日から準備をしました。

お弁当宅配の出発式に出席した富永町長は一人のためになることをするのは、大切なことです。今日、みなさんが訪ねるお年寄りたちは、好きでひとり暮らしをしているのではないはず。子どもや孫と一緒にいたいはず。町では、一生懸命働いてきた人が年をとっても生きがいを持って暮らせるよう、努力しています。みなさんの取り組みは、私たちの手本です」と激励しました。

この後、会員は三人一組になって、愛情がいっぱい詰まったお弁当を届けました。

真心込めて作ったお弁当です

ふれあいグループ会長 佐藤美子さん

町のお取り計らいで、町からコンヒカリを全量いただきました。私たちの取り組みにご理解をいただいている証だと、感謝しています。

一昨年は、70歳以上のひとり暮らしの方々にお届けしましたが、みなさんとでもお元氣なので、今年は75歳以上の方々、55人にお届けすることにしました。昨日から任込みをして、今日も朝早くから調理をしました。私たちの感謝と真心がいっぱい詰まったお弁当です。

みなさんが作ったお弁当、ありがとうございます。お弁当を開けるときも楽しみですし、はしをつけるときも何からいってかが迷ってしまうほど、たくさんのおかずが入っています。

みなさんの心づかいは、ひとり暮らしをしていても、決してひとりぼっちじゃないんだ、と思えるほどじわじわとありがたいことです。ありがとうございます。いただきます。

今野としのさん



ありがとうございます



だるまちゃん
てんぐちゃん
それからどうなるの？

藤田幼稚園で
手作り
人形劇

子供の反応が楽しみです 鈴木道代さん



サークル・エプロンは、公民館が開いている子育て学級の学級生が中心になって活動しているグループです。活動を始めて、今年で三年になります。

子どもたちに楽しんでもらうことはもちろん、私たち自身も楽しみながら続けることが目的のグループです。

ときには、福島市の幼稚園や公民館まで出かけていって行うこともあります。子どもたちの反応がとても楽しみです。

人形や小道具はすべて手作りです。毎週火曜日の練習のときにこれらのものを作ります。ときには会員同士で、子どもの話に花が咲くことも。

本番では、子どもたちの素直な反応に後押しされて、即興までして、がんばっちゃいます。

十月二十三日、藤田幼稚園の子どもたちが、お母さんたちの手作り人形劇を楽しみました。人形劇を行ったのは、公民館の子育て学級の学級生で作るサークル・エプロン（鈴木道代代表）のみさんです。

この日、子どもたちが楽しんだのは「人形劇・だるまちゃん」とてんぐちゃんや、人形たちが音楽に合わせてダンスを踊る

「南の島のハメハメハ」など四つ。人形は、すべてお母さんたちの手作り。そしてその人形の振り付けも、お母さんたちが考えます。おもしろくて、おかしい人形のしぐさに子どもたちは笑ったり、一緒に踊ったりして大喜び、幼稚園中に元気な子どもたちの声が跳ね返ったひとときでした。





15人で力を合わせて

ふくしま駅伝

町の部 16位

一区を走る佐藤美美子選手

十一月二十三日に行われた第九回ふくしま駅伝に出場した国見チームは、町の部で十六位でした。

国見チームの選手たちは、午前八時に白河総合運動公園をスタートした佐藤美美子選手から福島県庁までの十五区間、一〇二・九キロを力いっぱい走り通しました。

たくましい心、大きく広く

同じ目標に向かって、暑い日も寒い日もひたすら練習に励んできた駅伝部の若人たちには、連帯感が生まれました。今日の結果は、その連帯感で手にしたものです。

駅伝部の取り組みは、若人たちを成長させ、これからの未来に向けてたくましい心を育み、彼らの人生を必ずや大きく、広くしてくれるものと思います。これまで選手を支えてくれた家族のみなさんに感謝しながら、今日の健闘をみんなでたたえたいと思います。ご苦労さまでした。(富永町長談話・報告会で)

<区間順位>

1区 佐藤美美子 14位	9区 石川諒太 37位
2区 本間明美 47位	10区 遠藤まゆ 54位
3区 佐藤和彰 24位	11区 佐久間光雄 37位
4区 斎藤裕幸 55位	12区 松浦孝紀 8位
5区 田口幸一 52位	13区 佐藤温史 30位
6区 大竹洋平 37位	14区 大沼政子 47位
7区 佐久間勉 21位	15区 高橋豊光 52位
8区 羽根田孝輔 49位	

魚を横取りする憎い鳥で

さて一方、相馬の人たち

の浜を餌場にしていたの

でした。

は、貝田の人たちの守り神

のようにした。ワシは相馬

の浜を餌場にしていたの

でした。

ったのだそうです。

は、貝田の人たちの守り神

のようにした。ワシは相馬

の浜を餌場にしていたの

でした。

は、貝田の人たちの守り神

のようにした。ワシは相馬

の浜を餌場にしていたの

くにみの
民話かるた

お再発見





さりげなく みじかな奉仕 献血で

1月21日(水)は
成分献血の日です

受付時間…午前9時30分～午前11時 場所…観月台文化センター 大研修室
献血時間…午後1時～午後4時

※成分献血は検査を含め約1時間程度かかります。ご協力くださる方は、あらかじめお知らせください。

保健だより

保健増進係 ☎(585)2783

*** 育児教室 ***

該当乳児	実施日	受付時間	会場
平成9年7月～ 平成9年8月生まれの乳児	2月4日(水)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

《おかあさんへ》

☆身長・体重測定、離乳食、予防接種などについて

☆母子手帳を忘れずに！

*** 3歳児健診 ***

該当乳児	実施日	受付時間	会場
平成6年12月～ 平成7年2月生まれの幼児	2月19日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 大研修室

《おかあさんへ》

☆内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力・聴力検査などを実施します。

☆母子手帳を忘れずに！ 健診票はあとで郵送します。

*** 乳児健診 ***

該当乳児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成9年10月生まれ) ・9か月児(平成9年4月生まれ)	2月26日(木)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

《あかあさんへ》

☆医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、家族計画などについて

☆母子手帳を忘れずに！

年末年始の救急医療業務

年末年始の救急医療業務は、公立藤田総合病院で24時間体制で対応します。ご安心を。

公立藤田総合病院 ☎(585)2121

かぜに



この時期はかぜにかかりやすい時期です。かぜの症状は人によって様々ですが、悪寒や高熱、頭痛、関節痛などの全身症状が出ます。特にお子さんやお年寄りなど、体力的に弱い方は症状が重くなりがちです。油断は禁物。

ご用心！



募集

藤田・森江幼稚園児

▼対象幼児：平成四年四月二日から平成五年四月一日までに生まれた幼児（五歳児）▼受付期間：平成九年十二月八日から十九日まで（午前九時から午後四時三十分の間、土曜、日曜および祝日を除く）▼受付場所：印鑑を持参し、藤田幼稚園及び森江幼稚園▼その他：◇森江幼稚園では制服注文も受け付けます◇入園申込書は各幼稚園に備えてあります

国見町奨学生

国見町では、経済的な理由で進学することが難しい方に、奨学資金の貸し付けを行っております。奨学資金には、高校、高等専門学校（高専）または大学に在学している生徒・学生に貸し付けする修学資金と高校または大学に入学する際に貸し付けする入学支度資金の二つがあります。

（修学資金）▼募集人員：若干名▼貸与金額（月額）◇高校：一万円以内◇高専：一万五千元以内◇大学：二万円以内▼貸与期間：平成九年四月から最短期間（入学支度資金）▼募集

人員：若干名▼貸与金額（一括貸与）◇高校・高専：十五万円以内◇大学：二十五万円以内

（受付期間）平成九年一月十二日から二十三日まで（土曜、日曜及び祝日は除く）【資格等】国、県または他団体から同種の奨学資金の貸し付けを受けていることが前提となります（申込先）国見町教育委員会学校教育課（高校または高専進学予定者で貸し付けを希望する場合、中学校へお申し込みください）

★幼稚園・奨学生の問い合わせ
教育委員会 学校教育課
☎（585）2892

女性のための

パソコン講習会

福島県女性就業援助センターでは、女性の就業に必要な条件を整え、有利な就職をさせていただくために、パソコンの技術講習会を開催します。

▼講習科目：パソコン三級（初心者対象）▼内容：パソコン一般▼期間：平成十年二月九日から三月十日までの毎週月曜日から金曜日（祝日を除く）。午前九時三十分から午後三時三十分まで▼場所：福島県女性就業援助センター（県庁東分庁舎）五階▼定員：二十人▼受講料：

無料（教材費は自己負担）▼申込受付：平成十年一月二十六日（午前九時から午後四時までの間）に、女性就業援助センターで受け付けます。なお、電話での申し込みは受け付けませんのでご注意ください。申し込み多数の場合は抽選となります

★問い合わせ
福島県女性就業援助センター
☎（521）7740

わが家の家計簿・生活設計体験談募集

家計簿をつけ始めたきっかけ、家計簿をつけたことによる生活の変化、生活設計をたてるうえでの苦心、アイデアなどをお寄せください。

▼原稿◇本文：四百字詰め原稿用紙五枚以内◇添付するもの：家計簿体験談には支出内訳表、生活設計体験談には設計表◇記載事項：住所、氏名、年齢、電話番号、職業、封筒には「家計簿生活設計体験談」と明記◇募集期限：平成十年二月二十八日まで▼表彰：特賞（五編・賞金十万円）、優秀賞（十編・五万円）など

★送付先・問い合わせ
〒960-8065 福島県庁
福島県 県民生活課
☎（521）7180

●●ご隠居の年金よもやま話●●

～第3号扶養認定基準の巻～

外はしとしと雨模様。ご隠居が緑側でのんびりお茶を飲んでいると、おはるさんが浮かぬ顔をしてやってきました。



おはる：ご隠居さん、こんにちは。
ご隠居：おや、おはるさん、どうしたんだい。元気ないようじゃが、夫婦げんかでもしたのかね。
おはる：そうじゃないんですけど…。なんていうか、このごろ結婚生活に疲れたっていうか…。
ご隠居：なにいつてるんだい、おととい結婚したばかりじゃないか。
おはる：だって、うちの亭主ったら、広報の取材だ、締め切りだっていて、ちっとも私の方を振り向いてくれないの。毎日、家事に明け暮れて、じっと亭主の帰りを待っているだけ。うちのころがつかいわ。
ご隠居：専業主婦というのも、立派な役目じゃないかね。

おはる：結婚する前は、てきばきと家事をこなせるいい奥さんになろうと思っていたのに、なんか違うって感じー。
ご隠居：そういうなら、また仕事してみたらどうかね。
おはる：でも、亭主の扶養からはずされてしまうでしょ。年金はどうなるのかしらねえ。
ご隠居：年金は、収入が年間130万円までじゃったら、国民年金の第3号加入者のままじゃよ。
おはる：だって、今までと同じように保険料を支払わなくてもいいのね。
ご隠居：そのとおりじゃ。基準までなら働いても大丈夫なんじゃよ。
おはる：なんだ、それじゃパートでも始めようかしら。あら、ご隠居さん、お茶菓子なんにもないのね。買い物ついでに何か買ってきてあげるわ。
ご隠居：それじゃあ、越後屋のマロンケーキを買ってきておくれ。
おはる：あら、お安ご用よ。でも、手間賃いただいたら、これも収入になるのかしら
ご隠居：おいおい…

★問い合わせ 住民課年金係 ☎(585)2179



お知らせ

ご協力ください

工業統計調査

工業統計調査は、毎年十二月三十一日現在で製造業を営む事業所を対象に実施されます。この調査は、製造業の実態を正確に把握し、国や地方公共団体が行う諸施策の基礎資料となります。調査員がおつかがいします。ご協力をお願いします。

企画商工課 企画商工係

☎(585)2927

★お問い合わせ

住民課 生活環境係

☎(585)2116

町指定ごみ袋

お使いください

国見町では、平成八年七月から町指定ごみ袋(燃えるごみ)を導入していますが、最近、町指定袋以外の袋でごみを出す方が見受けられます。町内会名と氏名を記入した指定袋以外の袋で出されたごみは、収集できませんのでご注意ください。

また、新聞紙、雑誌類、ダンボール、アルミ缶、ビン類、ペットボトルは、リサイクルの日、リサイクルステーション(町内会一か所)にお出しください。

今年もビッグツリー

催しいっぱい
あったかくしていらっしやい

12月23日 午後5時点灯

- ・あつあつトン汁サービス
 - ・大切な人に「LoveLoveメッセージ」を送りましょ!
- (相手の住所をメモして来てね)

★問い合わせ
国見トライアングル・クラブ
佐藤司 ☎(585)3222

お祝い花火受付中!
(結婚記念、赤ちゃん誕生、金婚、銀婚のお祝いどうぞ)

1月の心配ごと相談

14日(木)
武田 薫^{SA} 山崎ヤイ^{SA}
26日(月)
菊地平助^{SA} 佐藤洋子^{SA}
場所
役場(2階)相談室
時間
午前9時~正午

観月台
文化情報



問い合わせ●●●
生涯学習課 文化振興係 ☎(585)2676

田崎悦子ピアノ・リサイタル

2月1日 午後2時 前売1,500円
当日2,000円



NHK 東北民謡コンクール

福島県予選会

●2月14日

福島県内に住むアマチュアの民謡歌手が参加する大会。新人部門と大賞部門に分かれて、約80人が自慢の民謡を披露します。午前は予選会、午後は決勝大会。大会の様子は、2月下旬にNHKラジオ第1で、3月上旬にNHK・FMで、県内、東北各県にそれぞれ放送されます。

プロフィール

ピアニストとしてアメリカで30年にわたり、ショルティ、サヴァリッシュ、スラトキンそして小澤征爾など、世界の名指揮者と共演、演奏活動が続ける。その独特の表現力も国際的にも定評があります。“熱情と力、美しい音色、心に浸透する音楽だ(ニューヨーク・タイムズ紙)” “約に見据えられたように身動きできなくなってしまう(ミュージカル・アメリカ紙)”とは、有力紙の芸術評。

人口と世帯

人口11月1日現在
男 5,567人(-12)
女 5,956人(-14)
計 11,523人(-26)
出生 9人 死亡 11人
転入 15人 転出 39人
世帯
3,123世帯(-2)

結婚おめでとう

誕生おめでとう

お子さん

保護者

おめでとう申し上げます

吉田秋雄さん (駅前)

吉田静江さん (貝田)

松浦佐子さん (石母田原)

徳江スズエさん (第9)

遠藤みよしさん (鳥取)

秦 精三さん (本町)

佐野キヨさん (第8)

桜沢ハツさん (高城)

蓬田長一さん (宮町)

11月20日届出分まで



文化のかおり高く

秋の祭典

第二十六回国見町文化祭は、十一月二日から十一月九日まで観月台文化センターと体育館で開催されました。

二日と三日に開催された作品展展示会では、習字や刻字、和紙人形、絵画、水墨画、菊花、陶芸、小中学生の書画などを展示、その見事な出来栄えに、会場を訪れた多くの人たちはじっと見入っていました。

三日にはダンスパーティーが開かれ、愛好者のみなさんはワルツやタンゴなどのリズムに合わせて、軽快なステップを披露していました。

九日には、音楽芸能発表会が開かれ、コーラス、舞踊、民謡、

詩吟、カラオケ、神楽舞などの団体が練習の成果を発表しました。訪れた皆さんは、発表が終わるたびに盛大な拍手を送っていました。



お父さんの

役割を考える

子育て教室

第十三回子育て教室が十一月九日、観月台文化センターで行われました。

今回のテーマは「お父さんの子育て」で、お父さんの家庭における養育役割について考える学習内容でした。

講師は保原町の住職石井祐聖さんをお願いしました。石井さんは保原町の民生委員として相談を受けたり、ボランティア活動も積極的に実践されたりして、お話の内容は多岐にわた

り、説得力のあるものでした。

先生ご自身もたゞ子育てでつま最中であるため、具体例の一つひとつに、受講生たちも大きくうなずきながら聞き入っていました。

家庭におけるお父さんは、家族のリーダーという大きな役割を担っています。リーダーはまず、「家族一人ひとりの話を聞く耳を持つこと」として、「プラス思考で子どもを見ること」、「公平な立場で家族に接すること」が大事だと話されました。

最後に、お父さんだけでなくみんな「がきくげ」の精神で過ごしましょう、と提言されました。

が：がまんばかりではだめ
ぎ：義理人情はほどほどに
ぐ：ぐちをこぼすな
げ：原理原則にしばられるな
ご：ごまかさないうで(自分を)
生きようよ

講義の後、参加したお父さんとお母さんたちは、目の前のことにばかり気を取られていたが、これからは先きまで考えて子どもに接しなければならぬと、改めて思いました、と異口同音に話していました。
今回も、実りのある学習会になりました。

優勝 大木戸チーム

町内一周駅伝走大会

公民館主催の第二十一回町内一周駅伝競走大会は十一月二日、役場前を発着点に町内を巡る十区間、二・九kmのコースで開催されました。

今年の大会には、一般の部に十チーム、中学生の部に三チームの計十三チームが参加しました。開会式の後、富永町長の号砲を合図に第一区のランナーが元気よくスタート。選手は治道の盛んな声援に励まされ、見事なタスキリレーを披露し、健脚を競いました。成績は次のとおりです。



〔一般・総合〕▼優勝：大木戸（1時間12分17秒）▼準優勝：小坂（1時間15分25秒）▼第三位：徳江南部（1時間20分36秒）〔中学生・総合〕▼優勝：小坂ジュニア（1時間26分20秒）▼準優勝：大木戸ジュニア（1時間29分7秒）▼第三位：大枝ジュニア（1時間30分18秒）

スポーツ振興に

役立てます

国見ライオンズクラブ（後藤忠男会長）より、町スポーツ振興のためにスポーツタイマーを寄贈いただきました。さっそく町内一周駅伝大会、スポ大駅伝大会に活用させていただきます。

ありがとうございました。



つうしん

国見町教育委員会生涯学習課

観月台文化センター

☎ (585) 2676

FAX (585) 2707



生涯学習



健康教室

～阿津賀志学級～

阿津賀志学級の健康教室は十一月十三日、観月台文化センターの大研修室で行われました。講師には、昨年に引き続き薬剤師の秦喜一郎さんを迎え、「漢方薬と食生活」という内容で、一時間半にわたってお話をいただきました。

中国の食文化には、内臓など体の機能に合った分類があり、食物即漢方といった食生活になっています。しかし、日本人の食生活はどうでしょうか。病気を薬で治すことばかりが重要視されています。病気になる体をつくるためには、食生活が重要だと力説されました。

お話の後、貴重な古代米（赤米と黒米）の炊きたてを参加者

全員で試食し、昔の人の食事を推察するとともに、健康食の理解を一層深めました。
なお、この日はお話に先立って、文化功労賞を受賞した、作家で岩手県天台寺の住職である瀬戸内寂聴さんのビデオを観賞し、心の健康とは何かということについても学習しました。



「ハイキングとカメラ教室」

～成人学級～

晩秋の自然路のハイキングと写真撮影を兼ねた学習会が十一月七日、霊山こどもの村で行われました。

こどもの村の児童館をお借りして、あつかし写友会新村国会長から撮影の基本、人物や風景の写し方について指導をいた

た。

この日は立冬でしたが、幸い天気に恵まれ、阿武隈山系のゆるやかな稜線の中にそり立つ奇岩、怪石の岩肌、赤や黄色の色彩がちりばめられた紅葉は錦絵を思わせ、目を見張る美しさでした。その中を参加者は、それぞれ構図を決め盛んにシャッターを切っていました。

持参のおにぎりを食べながら、各自の写真を持ち寄って出来映えについて話し合っことにしました。

午後は、施設の一つである遊びと学びのミュージアムで、竜巻を人工的に作ったり、生きていく地球の動きなどを見学しました。

天気にも恵まれ、さわやかに澄みきった青空と紅葉の中で、楽しい一日を過ごしました。



いざという時のために

～くにみ女性教室～

くにみ女性教室では、十一月十二日と十九日に、日本赤十字社福島県支部救急指導員の佐藤澤彌さんを講師に迎え、救急法の学習会を開きました。

第一回目は心肺蘇生法について、第二回目は応急手当と三角巾の使い方の実技指導を受けました。心肺蘇生法は、人形を使って気道確保や人工呼吸、心臓マッサージの方法の実習をしました。応急手当は、のどに異物がつまったりとき、浴槽でおぼれたときなどの処置の仕方、また三角巾を使って止血の仕方や包帯の巻き方の実習をしました。包帯を巻く際、清潔な保護カバーがない場合は、ハンカチやてぬぐいをガスコンロやアイロンまたはライターで殺菌して代用

したり、また、三角巾がない場合は、ネクタイやストッキングでも代用できることを学びました。教室生たちは二人一組になつて、救急法に真剣に取り組みました。

「殿方料理教室」

受講生募集

- ◇日時 1月24日(土)、2月7日(土)、21日(土)
- ◇場所 観月台文化センター 栄養指導室
- ◇時間 午後3時30分～午後5時
- ◇定員 20名
- ◇内容 炊き込み御飯と味噌汁 煮物・いためもの 簡単なおつまみ
- ◇食料費 2,000円(3回)
- ◇申込み 1月19日(月)まで、観月台文化センター事務局へ食料費を添えてお申し込みください。

新生活運動にご協力ください

結婚披露宴は簡素にし、会費制としましょう。会費は1万円以内とし、引出物は自粛しましょう。お見舞いは3千円以内とし、快気祝いは自粛しましょう。香典は2千円以内とし、お返しは自粛しましょう。

国見町新生活運動推進委員会

